

令和6年度第三者評価 改善状況報告書

令和7年5月30日

施設名	港区立神応いきいきプラザ	施設所管課	高輪地区総合支所管理課
所在地	東京都港区白金6-9-5	指定管理者	社会福祉法人 奉優会

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業体の場合記入)	令和7年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和7年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
事業所は2023年4月にオープンし、2024年度時点で事業開始から2年目を迎えたばかりであり、まだ認知度が十分に浸透していないことが課題となっています。この課題を解決するため、公式ホームページでは活動報告として写真付きブログを積極的に配信し、地域や利用者に向けて取り組みを発信しています。また、白金方面や麻布方面からの来館者が多いことを踏まえ、それぞれのルートに対応した独自の地図を作成し、アクセスの向上に努めています。町会や他のいきいきプラザ、地域包括支援センターなど地域の拠点におたよりを配布し、取り組みがより多くの人々に伝わるよう工夫を続けています。これらの取り組みを継続しながら、地域住民とのつながりを深め、地域全体に貢献する施設としての役割をさらに広げていくことに期待します。		近隣の高齢者相談センター、病院、町会、企業、高輪地区にある他のいきいきプラザなどと様々な団体と連携を図りイベント開催に取り組みました。新たな事業を開催したり、体験会を行うことで、新規来館者数獲得に向けた取り組みを行うとともに、ホームページを活用し活動報告を積極的に配信し、アクセス数も徐々に増加しています。地域で開催している防災会議に職員が出席し、地域の方と連携した防災対策に努めています。毎月、発行している館だよりを関係機関でも配布していただいたり、近隣の町会の掲示板にて掲示していただくなど、多くの方に周知してもらえるよう取り組みました。	2023年4月にオープンし、3年目を迎えますが、認知度が十分に浸透していないため、近隣の高齢者相談センター、病院、町会、企業、高輪地区にある他のいきいきプラザなど、様々な団体と連携したイベントの開催や他地区にあるいきいきプラザとの交流を検討しています。 来館者を増やすための新たな事業を、職員同士アイデアを出し合って開催し、職場全体で利用者数を増加できるよう取り組んでいきます。また、新規登録者獲得に向けた取組を、職員全員で考えていきます。	施設の認知度を高めるため、様々な工夫を行っています。今後も、職場全体でアイデアを出し合いながら、新規登録者獲得に向けて取り組むことを期待します。また、地域住民とのつながりを深め、地域全体に貢献する施設としての役割が広がるよう、促していきます。
事業所はオープンから1年間、併設施設との連携体制を強化するため、「神応ほっとプラザマニュアル」を策定し、毎月の連携会議を通じて館全体の基盤作りに取り組んできました。こうした取り組みにより、館内での連携は徐々に強化されつつありますが、2024年現在では、施設ごとの小規模な交流にとどまり、世代間でのつながりを深めるには至っていないことが課題となっています。そのため、今後は連携会議を通じて日常的な交流をさらに深め、多世代が参加できるような大規模なイベントの企画・運営を目指しています。館全体で一体となったイベントを通じて、世代を超えた交流の機会を広げることで、利用者同士が互いに支え合う環境を作り出すことが期待されます。		毎月開催している併設施設、施設維持担当者、警備業務担当者の連帯会議を通じ情報の共有、活動報告をし館全体の基盤作りに取り組んできました。神応ほっとプラザ全体避難訓練を年間で3回実施し災害時に起こりうる課題点や、保育園・学童・いきいきプラザの全員がスムーズに避難できるよう確認し合うことが出来ました。建物全体のマニュアルを整備し施設全体の連携を図ることで地域住民が安心して利用できる環境づくりを進めています。	事業所はオープンから2年間、「神応ほっとプラザマニュアル」の策定や、毎月の連携会議を通じて併設館のみではなく施設維持担当者、警備業務担当者とも課題事項など共有する取り組み等により、館内での連携は徐々に強化されつつあります。令和6年度時点では、施設ごとの小規模な交流にとどまり、世代間でのつながりを深めるには至っていないため、今後は連携会議を通じて日常的な交流をさらに深め、地域住民・多世代が参加できるような大規模なイベントの企画・運営を目指しています。館全体で一体となったイベントを通じて、世代を超えた交流の機会を広げていきます。	毎月の定例会議等を通じた併設施設との日常的な交流を深め、館全体で一体となり、世代を超えた交流の機会を広げていけるよう、取組を促していきます。